

歴史と自然が織りなす智頭の秋

―会員交流バス旅行を開催―

11月23日・24日に会員バス旅行を開催し、両日合わせて100名の参加者が宿場町として栄えた鳥取県の智頭町を訪ねました。

最初に訪れた石谷家住宅は国の重要文化財に指定されており、敷地3000坪・40余りの部屋数と7棟の土蔵を有する大規模な邸宅です。参加者は観光ガイドの案内のもと館内を巡り、秋の特別公開として、普段は降りることのできない庭園を散策し、色づく紅葉を満喫しました。

昼食は「み
たき園」の山
菜郷土料理を
味わいました。
特製山椒味噌
をつけた焼き
たてのヤマメ



石谷家住宅の庭園散策

や、毎朝つくるこんにゃくの田楽など、手作りの温かみを感じる品々が並びました。

その後は大江ノ郷自然牧場へ向かい、軽食や買い物など思い思いの時間を過ごし、ゆったりとしたひとときを楽しみました。

新しい事業計画のつくり方

―生成AI活用セミナーを開催―

11月25日、経営デザインコンサルディング(株)の代表取締役 川居宗則氏を講師に迎え、「生成AIで実現！経営効率化&事業計画策定」セミナーを開催しました。

代表的な生成AIとその利用場面を紹介した後、講師が生成AIを使って実際に作成した事業計画書を開示すると、参加者はその完成度に高い関心を示していました。

生成AI



実例を示しながらの解説

活用の最大のメリットは、文書校正や事業分析、アイデア出しなどについて蓄積された膨大なデータを基に高い精度でアウトプットできる点であると説明し、それを活かすための効果的な指示(プロンプト)の工夫についても触れました。

また、国税庁のDX推進については、加古川税務署の善光哲治総務課長よりご説明をいただきました。参加者は15名

もし、攻撃予告が届いたら

―サイバーセキュリティセミナーを開催―

11月27日、兵庫県警察サイバー企画課と合同で、サイバーセキュリティセミナーを開催しました。



講演される岡田氏

第1部はサイバーセキュリティ・高度化センターサイバー企画課より「サイバー空間をめぐる脅威の現状」について、第2部は警備部 外事課より「営業秘密の流出防止に向けて」の解説がありました。

第3部は兵庫県警察サイバーセキュリティ対策アドバイザーである(株)アスタリスク・リサーチの代表取締役 岡田良太郎氏より、身に着けるべきセキュリティプラクティスについて講演がありました。加古川地域の中小企業の標的になりやすい部分や強化施策について具体例を挙げて解説し、技術や組織の脆弱性だけでなく、人の心の脆弱性(無知無関心・思い込み等)も対策が必要だと述べました。

参加者は27名

企業としての対策は？

―年収の壁対策セミナーを開催―

12月3日、孚(まこと)事務所(株)の代表取締役であり、社会保険労務士でもある飯田吉宏氏を講師に、令和7年度最新版「年収の壁」対策セミナーを開催しました。

初めに年収の壁問題の背景や現状について触れ、年収の壁による就業調整は、働く意欲を持つパート従業員の業務能力の発揮と向上にマイナスに働くだけではなく、ほかの従業員の負担を増やし、企業の人手不足を助長する側面があると述べました。

また、年収の壁対策として支援強化パッケージについて触れ、キャリアアップ助成金等について解説がありました。



詳細な資料を基に解説

最後に、企業として注力すべきことは、政府が打ち出す方針を確認しつつ、自社のニーズに応じた支援策を活用し、「壁」周辺のパート従業員が納得して働ける労働環境をつくることだと締めくくりました。参加者は15名